



会報

No.38

2016年1月1日発行

発行／日本コンプライアンス・オフィサー協会 発行責任者／菊池一男
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3番21号 電話 (03) 3267-4826 ホームページ <http://jcoa.khk.co.jp/>

ガバナンス改革とコンプライアンス

日本コンプライアンス・オフィサー協会会長 長谷川 俊明

2015年は、例年にも増して内外で大きな企業不祥事が相次ぎました。ドイツの自動車メーカーによる排ガス規制を不当にクリアするためのソフトウェアづくり、日本の電機メーカーによる不正会計、そのほかではマンション等の杭打ちデータ改ざんなどです。

これらの不祥事は、いずれかの国・地域の法令に違反した行為が元になっており、すべてコンプライアンスの問題といえることができます。一方で、2015年は「コーポレートガバナンス改革元年」とされます。これは、同年5月1日から「企業統治」改革を旗印に掲げた改正会社法が施行になり、同年6月1日からは、改革をさらに前進させる内容をもったコーポレートガバナンス・コードが適用開始になったからです。

コンプライアンスは内部統制の目的の1つであり、これを実現するためのコンプライアンス体制は、内部統制システムの“支柱”です。では、ガバナンスと内部統制・コンプライアンスとの関係はどのようなものなのでしょうか。

コンプライアンスの最も重要な部分、最も深刻なコンプライアンス問題をもたらす経営トップの法令無視を防ぐためには、組織の外からのガバナ

ンスがなければ実現できません。なぜならば、会社などの企業組織に最も大きなダメージをもたらすものも、組織のトップによる不祥事・法的ルール無視だからです。

内部統制は「経営者の持ち物である」と言われるように、経営陣が組織の構成員を“内向きで下向き”にコントロールしつつ不祥事などを防止するシステムです。スポーツですと、得点を上げる“攻め”の統制と、失点を防ぐ“守り”の統制がバランスよく行われていなければ到底強いチームとはなりません。

企業組織の場合、法律がわざわざ明文で整備を要求しているのは、業績向上のための内部統制ではなく、リスク管理と一体となって損失の発生を防止する“守り”の内部統制です。ただ、内部統制が文字どおり、“内向き”にしか行われないとすると、企業組織に最大のリスクをもたらす経営陣の“暴走”をおさえることができません。これを可能にするのは、組織の外からするガバナンスと組み合わせるしかありません。

コーポレートガバナンス・コードが「独立社外取締役」を2名以上置くべきとしているのは、まさにそのためとあってよいでしょう。

コンプライアンス・オフィサー認定試験 成績結果

昨年10月25日(日)に実施いたしました第36回コンプライアンス・オフィサー認定試験の試験結果がまとまりましたのでご報告いたします。

●金融コンプライアンス・オフィサー 1級

成績結果は、〔表-1〕のとおりです。

応募者数1,051名中受験者は830名で、認定者は286名でした。認定率は34.46%、平均点は53.46点で、ともに前回は上回りました。

問題では、〔問題-3〕リーガル・チェック等態勢、〔問題-4〕融資証明書を発行したことの法的責任、〔問題-5〕業務上横領罪、〔問題-7〕預金等誤認防止措置、が低調でした。

これらの問題では、解答を作成するにおいて求められている項目について、十分記述がなされておらず、得点に結びついていないケースがありました。

問題を解く際は、まず、出題のねらいをつかみ、問題解説集や参考書等で学んだ知識を当該問題にあてはめ、論理的に解答を作成することが高得点につながります。

●金融コンプライアンス・オフィサー 2級

成績結果は、〔表-2〕のとおりです。

応募者数6,469名中受験者は5,947名で、認定者は4,581名でした。認定率は77.03%、平均点は67.66点で、ともに前回は上回りました。

正解率が30%を下回った問題は、〔問-19〕利益相反取引、〔問-20〕小切手、〔問-40〕消費者契約法、〔問-43〕成年後見制度、〔問-45〕個人情報保護法、の5問で、前回の4問より1問増えました。

上記のうち、「手形・小切手」関連や、「個人情報

保護法」の問題は、毎回、正解率が低い傾向にあります。

手形・小切手は基本知識の1つといえますし、個人情報保護に関する知識はコンプライアンスの観点から重要です。またそれ以外の、「利益相反取引」、「消費者契約法」、「成年後見制度」についても、金融実務におけるコンプライアンス上、重要な項目ですので、確実に知識を習得しておくことが望まれます。

●保険コンプライアンス・オフィサー 2級

成績結果は、〔表-3〕のとおりです。

応募者数1,179名中受験者は1,071名で、認定者は489名でした。認定率は45.66%、平均点は57.43点で、ともに前回は下回りました。

正解率が30%を下回った問題は、〔問-10〕損害保険会社・生命保険会社が取り扱う保険契約の規律、〔問-20〕募集文書のチェック体制、〔問-23〕クーリング・オフ、〔問-28〕被保険者の同意、〔問-29〕死亡保険金受取人と相続の関係、〔問-36〕特定保険契約の規制、〔問-38〕適合性の原則、の7問で、前回から5問増えました。

〔問-10〕は、損害保険会社・生命保険会社が取り扱う保険契約に関する規律の理解を問う問題でした。平成26年の保険業法改正に伴い変更された「保険会社向けの総合的な監督指針」について、正確に理解されていない受験者が多いようでした。

また、〔問-23〕は、保険契約のクーリング・オフが認められない場合についての理解を問う問題でした。クーリング・オフは頻出のテーマですので、問題解説集も活用して、正しい知識を身に付けてください。

〔表－1〕 金融コンプライアンス・オフィサー 1級 業態別成績一覧表

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損・ 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数(名)	16	425	217	30	132	36	37	20	5	0	36	97	1,051
応募比率(%)	1.52	40.44	20.65	2.85	12.56	3.43	3.52	1.90	0.48	0.00	3.43	9.23	100.00
受験者数(名)	13	351	163	25	101	30	33	16	3	0	33	62	830
受験率(%)	81.25	82.59	75.12	83.33	76.52	83.33	89.19	80.00	60.00	0.00	91.67	63.92	78.97
認定者数(名)	3	114	76	10	21	11	13	6	0	0	5	27	286
認定率(%)	23.08	32.48	46.63	40.00	20.79	36.67	39.39	37.50	0.00	0.00	15.15	43.55	34.46
平均点(点)	52.92	53.77	55.07	53.60	49.02	50.53	55.03	57.38	44.33	0.00	48.24	57.58	53.46
年齢(歳)	44.5	37.7	39.9	42.8	41.9	44.4	45.3	39.7	49.7	0.0	50.1	41.9	40.3
勤続年数(年)	20.3	14.6	16.8	18.6	18.7	19.7	21.1	15.8	20.3	0.0	23.6	15.6	16.6

※ 認定基準は60点(以上)です。表中の平均点・年齢・勤続年数は受験者の数値です。

〔表－2〕 金融コンプライアンス・オフィサー 2級 業態別成績一覧表

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損・ 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数(名)	306	1,037	611	412	1,100	556	1,260	128	11	1	29	1,018	6,469
応募比率(%)	4.73	16.03	9.45	6.37	17.00	8.59	19.48	1.98	0.17	0.02	0.45	15.74	100.00
受験者数(名)	286	968	569	367	1,018	508	1,170	118	8	1	28	906	5,947
受験率(%)	93.46	93.35	93.13	89.08	92.55	91.37	92.86	92.19	72.73	100.00	96.55	89.00	91.93
認定者数(名)	270	857	520	288	761	283	745	95	5	1	27	729	4,581
認定率(%)	94.41	88.53	91.39	78.47	74.75	55.71	63.68	80.51	62.50	100.00	96.43	80.46	77.03
平均点(点)	74.22	71.39	72.78	68.12	66.26	60.67	63.41	69.31	67.00	66.00	74.21	68.75	67.66
年齢(歳)	31.5	30.7	31.9	32.5	32.1	30.6	38.3	30.4	43.9	33.0	45.0	34.0	33.3
勤続年数(年)	7.7	7.6	7.9	9.3	9.5	8.1	14.1	6.5	20.8	4.0	20.0	8.5	9.4

※ 認定基準は60点(以上)です。表中の平均点・年齢・勤続年数は受験者の数値です。

〔表－3〕 保険コンプライアンス・オフィサー 2級 業態別成績一覧表

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損・ 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数(名)	0	159	0	15	107	14	224	0	359	0	20	281	1,179
応募比率(%)	0.00	13.49	0.00	1.27	9.08	1.19	19.00	0.00	30.45	0.00	1.70	23.83	100.00
受験者数(名)	0	147	0	12	103	14	214	0	319	0	20	242	1,071
受験率(%)	0.00	92.45	0.00	80.00	96.26	100.00	95.54	0.00	88.86	0.00	100.00	86.12	90.84
認定者数(名)	0	55	0	4	25	0	31	0	202	0	9	163	489
認定率(%)	0.00	37.41	0.00	33.33	24.27	0.00	14.49	0.00	63.32	0.00	45.00	67.36	45.66
平均点(点)	0.00	56.15	0.00	52.00	52.23	50.71	50.83	0.00	61.49	0.00	57.20	61.60	57.43
年齢(歳)	0.0	38.3	0.0	35.8	38.3	35.4	38.4	0.0	39.8	0.0	40.9	43.9	40.0
勤続年数(年)	0.0	15.4	0.0	10.8	15.8	13.2	16.3	0.0	14.9	0.0	11.6	18.5	16.0

※ 認定基準は60点(以上)です。表中の平均点・年齢・勤続年数は受験者の数値です。

〔2016年3月実施〕
コンプライアンス・オフィサー／個人情報保護オフィサー認定試験のご案内
 〔コンプライアンス・オフィサー認定試験〕

実施日	願書受付期間	実施種目	出題形式	実施時間	受験料
第37回 2016年 3月6日(日)	2016年 1月7日(木) ～1月20日(水) 必着	J Aコンプライアンス3級	三択択一式	13:30～15:00 (90分)	3,240円 (税込)

〔個人情報保護オフィサー認定試験〕

実施日	願書受付期間	実施種目	出題形式	実施時間	受験料
第17回 2016年 3月6日(日)	2016年 1月7日(木) ～1月20日(水) 必着	金融個人情報保護 オフィサー2級 〈マイナンバー対応〉	三択択一式／ 事例付記述式	10:00～12:30 (150分)	4,320円 (税込)

〔2016年6月実施〕
コンプライアンス・オフィサー認定試験のご案内

実施日	願書受付期間	実施種目	出題形式	実施時間	受験料
第38回 2016年 6月5日(日)	2016年 4月1日(金) ～4月20日(水) 必着	金融コンプライアンス・ オフィサー1級	事例付記述式	13:30～16:30 (180分)	6,480円 (税込)
		金融コンプライアンス・ オフィサー2級	四択択一式	10:00～12:30 (150分)	4,320円 (税込)
		金融個人情報保護 オフィサー2級 〈マイナンバー対応〉	三択択一式／ 事例付記述式	10:00～12:30 (150分)	4,320円 (税込)

* 「個人情報保護オフィサー認定試験」は、2016年度より名称を「コンプライアンス・オフィサー認定試験」に統合して実施いたします。2016年6月の「金融個人情報保護オフィサー2級」は、「第38回コンプライアンス・オフィサー認定試験」として実施いたします（試験内容等につきまして変更はありません）。